

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使うてほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>研究の名称</p> <p>胸腺腫、胸腺癌の亜型である Micronodular thymic neoplasm の病理学的検討</p> <p>研究の対象</p> <p>2006年1月～2019年8月に浜松医科大学医学部附属病院、聖隷三方原病院と名古屋第一赤十字病院、名古屋大学医学部附属病院で胸腺部分切除術もしくは、胸腺全摘術を受けられ、micronodular thymic carcinoma with lymphoid stroma、micronodular thymoma with lymphoid stroma、胸腺腫(Type A thymoma, Type AB thymoma, Type B1 thymoma, Type B2 thymoma, Type B3 thymoma)、胸腺癌(squamous cell carcinoma)と病理診断を受けた方、浜松医科大学医学部附属病院にて病理解剖をされた方。</p> <p>研究の目的</p> <p>胸腺腫の亜型である micronodular thymoma with lymphoid stroma(リンパ性間質を伴う小結節性胸腺腫)は胸腺腫の約1%を占め、報告例はまだ少なく、臨床的病理学的な特徴は不明な点も多くあります。近年、micronodular thymoma with lymphoid stroma において、腫瘍内に Langerhans 細胞(ランゲルハンス細胞)と樹状細胞が存在することが報告され、腫瘍内において特殊な免疫応答が起こっていることが予想されます。また近年 PD-L1 を中心とした腫瘍免疫が注目を集めています。浜松医科大学医学部附属病院、聖隷三方原病院と名古屋第一赤十字病院と名古屋大学附属病院で手術された患者様の micronodular thymoma with lymphoid stroma とその悪性のカウンターパートである micronodular thymic carcinoma with lymphoid stroma (リンパ性間質を伴う小結節性胸腺癌)の検体を用い、発現している蛋白などを分析することによる免疫応答の解明を目的とします。組織検体を用いて、免疫組織化学検査により、腫瘍細胞の細胞膜や核に発現している蛋白を浜松医科大学において解析します。またそれらの結果と臨床情報を合わせ、腫瘍内の免疫応答と臨床所見の関連を考</p>
----------------------	---

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	<p>察します。</p> <p>研究の期間 研究実施期間：実施承認後～2023年3月末</p> <p>他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では共同研究機関以外の外部へ試料・情報を提供しません。</p>
<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>研究に使用する試料・情報： 試料：手術にて摘出された胸腺組織等 情報：病歴、治療歴、放射線画像等</p>
<p>利用する者の範囲</p>	<p>共同研究機関の名称及び研究責任者 聖隷三方原病院 病理診断科 部長小川博 名古屋第一赤十字病院 副院長 病理部部長 伊藤雅文 名古屋大学医学部附属病院 病理部 准教授 中黒匡人</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>研究責任者 研究責任者: 浜松医科大学再生感染病理学講座 助教 八木春奈</p> <p>聖隷三方原病院 病理診断科 部長 小川博 名古屋第一赤十字病院 副院長 病理部部長 伊藤雅文 名古屋大学医学部附属病院 病理部 准教授 中黒匡人</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくははメールでお願いします。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

情報の開示	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。</p>
問い合わせ先	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部 診療科：再生・感染病理学講座 担当者：八木春奈、岩下寿秀 TEL：053-435-2223 FAX：053-435-2224 E-mail：hyagi@hama-med.ac.jp</p>